

市町村名		渡嘉敷村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-① 渡嘉敷村観光総合推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア				
担当部署名	観光産業課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	入域観光客数の増加を図るため、県内外で開催される観光イベント等での観光PR活動、各種広告媒体を活用した情報発信及び、増加する外国人観光客の受入体制の整備を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	(a) 当初予算額	73,734	48,829	50,901	59,595	52,262	
	(b) 予算現額	55,620	42,981	35,668	42,564	28,616	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 18,114	▲ 5,848	▲ 15,233	▲ 17,031	▲ 23,646	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	55,620	42,981	35,668	42,564	28,616	
	B. 執行済額	51,587	41,889	33,970	36,104	27,926	
	うち交付金充当額	41,269	33,511	27,176	28,883	22,340	
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	92.7%	97.5%	95.2%	84.8%	97.6%	
予算の状況の説明	観光誘客受入委託業務について、事業計画の見直しにより予算22,097千円を減額した。不用額1,549千円については、委託や旅費の精算などによるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	制作配布PRツール作成・配布 渡嘉敷島MAP(日本語):30,000部・(多言語版):10,000部、ポストカード:50,000枚、A2ポスター:80枚、村PR用ノベルティ(マスク、トートバッグ):1,000個	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	県内外で行われるイベントでのPR活動 (地域事業者派遣:11人)	目標	(7人派遣)	(11人派遣)	(12人派遣)	(11人派遣)	
		実績	4人派遣	4人派遣	実績なし	2人派遣	
	広告掲載(沖縄・離島情報):18万部	目標	(20万部)	(20万部)	(18万部)	(18万部)	
		実績	20万部	20万部	20万部	20万部	
	外国語スタッフの配置:2人	目標	(3人)	(3人)	(3人)	(2人)	
		実績	1人	2人	2人	2人	
多言語観光案内サイン板制作:4基	目標	(5基)	(4基)	()	()		
	実績	5基	4基				
達成状況説明	PRツールとして、渡嘉敷島MAP(日本語)30,000部、渡嘉敷島MAP(多言語)10,000部、ポストカード50,000枚、A2ポスター80枚、村PR用ノベルティ(マスク、トートバッグ)1,000個 を作成し県内イベント参加時のPR活動へ活用した。また、専門的できめ細やかなPR活動のため、東京で開催されたマリンダイビングフェアヘインストラクターを含む2名の地元事業者を派遣した。さらに、「沖縄・離島情報」への広告を掲載し、20万部を発行するとともに、那覇泊港への外国語スタッフ2名を配置して外国人観光客への対応を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(H24年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	・年間入域観光客数	目標	(109,578)	(150,000)	(137,000)	(85,300)	()
		実績		131,379	49,752	52,515	
	・観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	(80%以上)	(80%以上)
		実績				80%	
進捗状況説明	・年間入域観光客数は、前年度から2,763人増加したが、目標に届かなかった。月別比較では、令和3年4月から令和3年5月の期間は、前年度と比較して7,782人増加(487.7%)した令和3年6月以降は増減はあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により伸び悩み、前年6月以降に対しては5,019人減少(89.5%)した。 ・アンケートについては、WEB調査、事業者・村民アンケートを実施した。渡嘉敷村に対して魅力を感じている人は8割と多く、特に20~30代の若い世代に魅力を感じている割合が84.7%と多かった。						

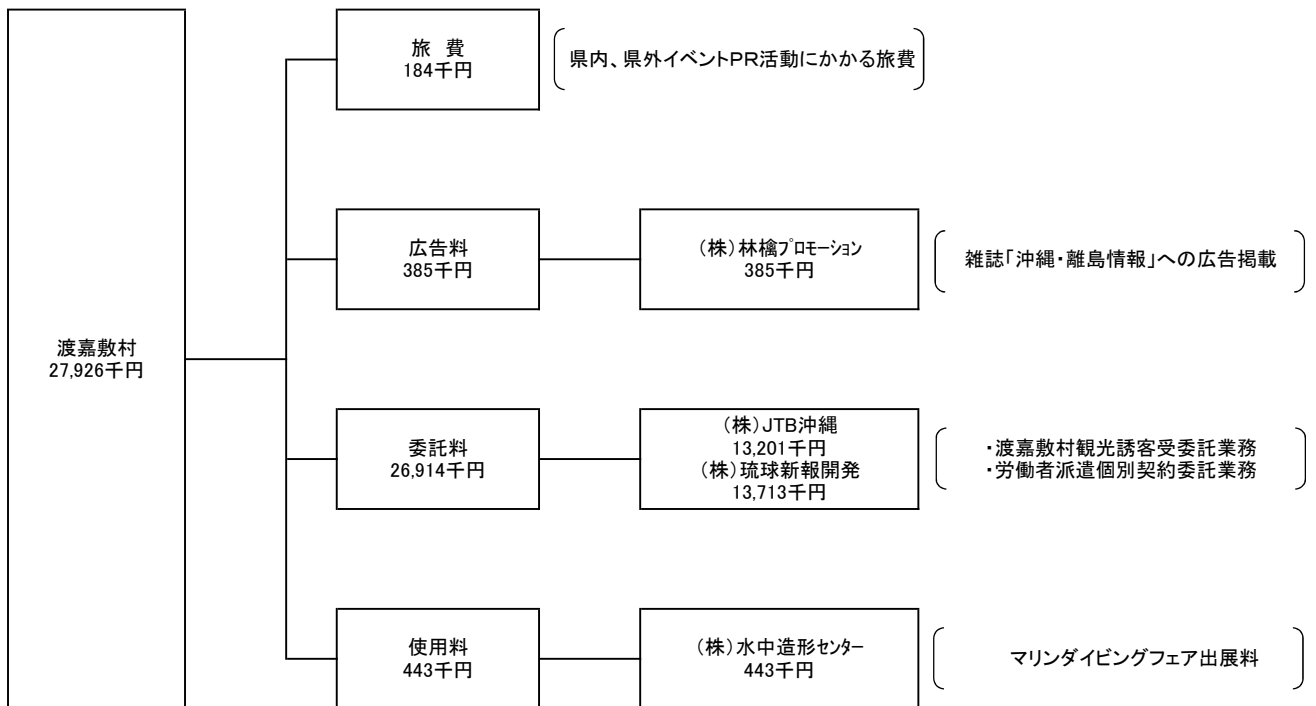
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・繁忙期の入域数について、現状としては入域者の満足度は達成しているが新型コロナウイルス感染症予防の観点から、受入可能な上限値を検討する必要がある。 ・誘客を推進するうえで、ターゲットや方向性を検討する必要がある。 ・今後のインバウンド対応の方策を探るため、外国人観光客からの有効な回答数を得られる方法を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・閑散期の観光誘客メニューを作成し、入域数の平準化を図る。 ・過去の入域数データを参考に、アンケートの実施スケジュールを作成する。

今後の取り組み方針

・地域事業者の意見を踏まえて、観光誘客メニューを作成し、更なる観光誘客に取り組む。
 ・実施スケジュールに基づくアンケートに取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
27,926	27,926	22,340	5,586	0



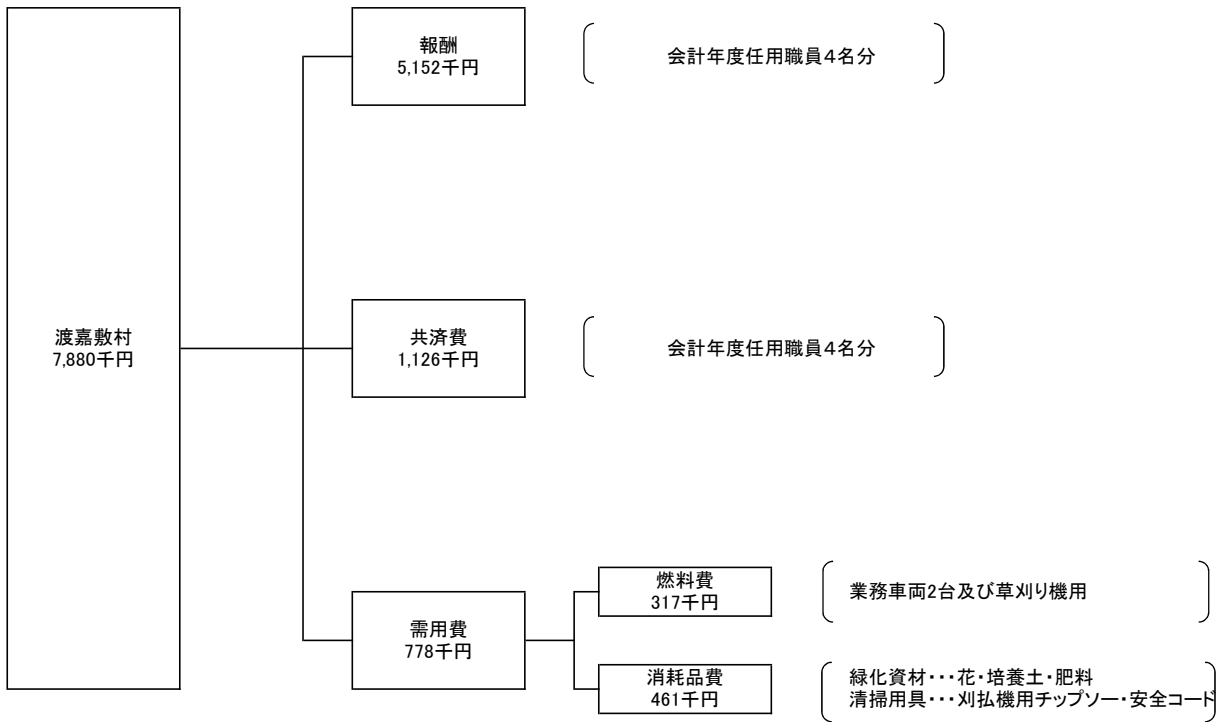
資金の 使途の 流れ、 点検 評価 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業は企画コンペで選定しており、妥当であると考え。 ○不用額は事業費の5%以内であり、ほぼ妥当な予算規模と考える。 ○費目、使途については検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-② 渡嘉敷村美化清掃事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
	担当部署名	観光産業課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容		魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び植栽を実施する					
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	9,680	9,790	9,886	11,627	10,672
	(b)予算現額	9,680	9,790	7,042	9,098	8,405	
	(c)増減額(b-a)	0	0	▲2,844	▲2,529	▲2,267	
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)	9,680	9,790	7,042	9,098	8,405	
	B.執行済額	8,452	7,934	5,102	8,638	7,880	
	うち交付金充当額	6,761	6,347	4,081	6,910	6,304	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	87.3%	81.0%	72.5%	94.9%	93.8%	
予算の状況の説明		今年度においても新型コロナウイルス感染症の影響により、入域客数が減少したことにより植栽の数量を調整し2,267千円減額したが、概ね計画通り実施することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	花木植栽10箇所実施	目標	(8箇所)	(8箇所)	(8箇所)	(10箇所)	
		実績	8箇所	8箇所	8箇所	10箇所	
	美化清掃10箇所実施	目標	(8箇所)	(8箇所)	(8箇所)	(10箇所)	
		実績	8箇所	8箇所	8箇所	10箇所	
達成状況説明	観光客が利用する公共施設や展望所等10箇所(渡嘉敷港旅客待合所、港の見える丘展望台、アラン展望台、前岳林道東屋、照山園地、美花原遊歩道、阿波連漁港、阿波連園地、渡嘉志久海岸公園、ユクンチジ花壇)を対象に、公衆トイレ及び施設等の清掃作業、施設周辺の除草・植栽作業を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		92%	87%	92%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	公衆トイレや展望台の清掃、除草作業を実施したことで、環境整備が行き届いた魅力ある観光地として景観を維持することができた。観光客を対象としたアンケートでは、本事業10箇所において「きれい」との肯定的な回答は92%だった。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・乗用草刈機を導入したことによって、多くの時間を要する公園等は時間短縮でき作業効率の向上となったが、作業員の高齢化に伴い作業分担に偏りができている。</p>	<p>・雇用形態を見直し、通年を通し人材の確保の必要がある。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>・地域住民に美化清掃事業の周知を行い人材の確保に務める。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,901	7,880	6,304	1,576	21



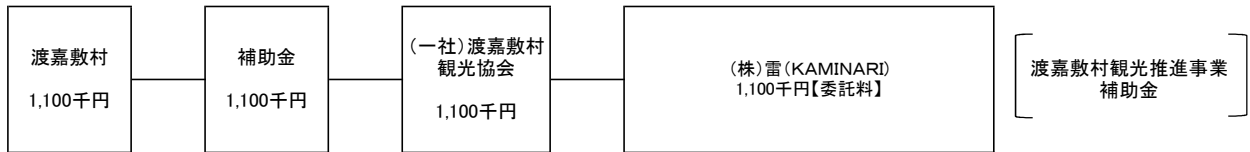
資金の流 用途の流 点検 費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○作業員は村内公募により採用しており、妥当であった</p> <p>○清掃箇所に対し作業員4名の person 費と作業に伴う需用費を支出。予算規模についても適正であった。</p> <p>○費目、用途について、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時に支出等に関する書類により確認、適切であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③ 渡嘉敷村観光振興事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
	担当部署名	観光産業課	事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容		渡嘉敷村の観光振興を図るため、各イベント実行委員会への支援や、修学旅行等の誘致活動に取組む観光協会への支援を行う。					
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	8800	8,800	-	17,800	17,800
	(b) 予算現額	8800	7,200	-	3,600	8,800	
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 1,600	-	▲ 14,200	▲ 9,000	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	8,800	7,200	-	3,600	8,800	
	B. 執行済額	8800	6119	-	3,200	1,100	
	うち交付金充当額	7040	4895	-	2,560	880	
	次年度繰越額	0	0	-	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	85.0%	-	88.9%	12.5%	
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症拡大の影響による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出に伴い、補助先となる村観光協会の事業見直しや各イベントの中止により、当該事業に充当予定であった補助金を8,800千円まで減額したが、その後さらに事業を縮小したため7,700千円の不用額が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	修学旅行誘致活動(県外旅行者17社及び高校等学校3校訪問)(関東・関西での修学旅行フェア出展)	目標	(17社・3校 関東・関西出展)	()	()	()	
		実績	17社・2校 関東・関西出展				
	県外旅行会社招聘2社	目標	(2社招聘)	()	()	()	
		実績	2社招聘				
観光協会への支援	目標	()	()	(実施)	(実施)		
	実績			実施	実施		
達成状況説明	渡嘉敷村の観光振興を図るため、誘客活動や修学旅行等の誘致活動に取組む観光協会を支援した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
		年間入域観光客数			(137,000)	(85,300)	()
		目標	()	()	(12校)	(10校)	()
		実績			0校	0校	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
進捗状況説明	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、年間入域観光客数は目標より32,700人ほど下回る結果となったが、前年度と比べると2,700人ほど増加している。 ・修学旅行の受入については、新型コロナウイルス感染症の影響により受入を予定していた全ての学校が中止(キャンセル)となった。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>修学旅行受入数の減については、感染症の感染拡大の影響が最大の要因と考えられる。「新しい生活様式」を踏まえた団体(大人数)の観光客の受入を想定していたが、まん延防止等重点措置等の期間が長かったため、キャンセルが相次いで発生した。</p> <p>コロナ禍であっても、感染症対策を十全に行っていることを内外にアピールする方法を検討する必要がある。</p>	<p>withコロナの世界になっていることを踏まえ、感染症対策を十全に行っていることをSNS等を活用して広く周知を行うことで、県内外の観光客にとっての旅行先の選択肢に入る確率を上げる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>引き続き、withコロナ・新しい生活様式等の国の発出する指針を踏まえ、渡嘉敷村観光協会による受入体制の構築及び村内各事業者や観光客への周知等に対する支援を継続し、観光誘客に取組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,100	1,100	880	220	0

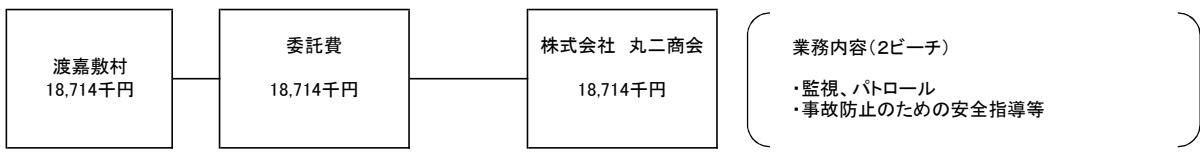


資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○補助事業者は、交付金交付要綱による審査により決定していることから、妥当であるとする。</p> <p>○実績報告を精査し妥当な予算規模と考える。</p> <p>○費目、用途については補助金交付要綱の目的に即し、必要なものであったと判断する。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）		改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）	
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・ビーチ内に遊泳監視区域を設定したうえで、水難救助員等を配置しているが、区域外を利用する遊泳者も含めた監視活動を実施している。夏季繁忙期等は遊泳者が多くなり、遊泳者の状況によっては、現人員では十分な監視体制の確保が困難となる可能性もある。 ・新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた監視活動に取り組む必要がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ビーチにおける事故防止と安全確保は、「監視体制の確保（水難救助員等）」と「遊泳者（ビーチ利用者）による利用ルールの遵守」から可能となると考える。 ・感染症拡大予防ガイドラインを策定・遵守し、感染防止に努める。
	今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・水難救助の講習会やトレーニングにより、人材の確保・育成に努め、状況に応じた監視体制の更なる強化を図る。 ・観光客向けの遊泳ルール周知のために村HPの活用や、ビーチ入り口における看板の設置によりルールの周知徹底を図る。 			

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
18,714	18,714	14,971	3,743	0



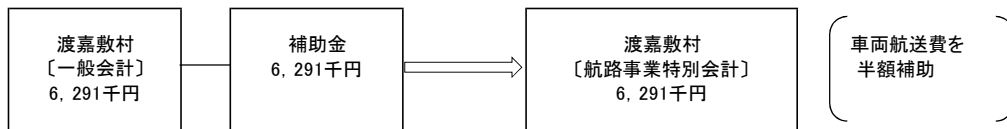
資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業は企画コンペで選定しており、妥当であると考えられる。 ○不用額は事業費の精算によるものであり、ほぼ妥当な予算規模と考える。 ○費目、用途については検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-① 自動車航送コスト負担軽減事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	3章-3-(11)-ア			
担当部署名	総務課	事業実施 (予定)年度	平成28~令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	交通・生活コストの低減			
事業内容	渡嘉敷港~那覇泊港間の車両航送利用者に対し、運賃を半額補助する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	3,056	3,056	4,170	4,233	5,112	
		(b)予算現額	4,066	4,564	5,456	5,839	5,112	
		(c)増減額(b-a)	1,010	1,508	1,286	1,606	0	
		(d)繰越額	0	0	0	0	0	
		A.計(b+d)	4,066	4,564	5,456	5,839	5,112	
	B.執行済額		4,066	4,564	5,456	5,839	6,291	
	うち交付金充当額		3,253	3,651	4,365	4,671	5,033	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	123.1%	
予算の状況の説明		利用者の増により当初予定を上回ったため実績による交付金増額を行った。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	年間自動車航送台数 自動車(二輪車を含め)	目標	(400)	(550)	(560)	(730)		
		実績	631	745	790	1,020		
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	コロナ禍にあっても目標台数を大幅に上回る結果となった。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値 (年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値 (年度)	
	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績		99%	99%	99%	
			目標	()	()	()	()	()
		実績						
進捗状況説明	平成30年度よりアンケートを実施し、本事業について99%の方から「満足している」との回答を得ている。							

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にあっても本事業の利用者が増加し、当初目標を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実績を参考に目標値を増やし、島民へ事業の周知を行う。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・例年目標値を上回る利用があり、住民へ認知もされているため、事業の継続実施に努める。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
6,291	6,291	5,033	1,258	0



資金の流 用途の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、渡嘉敷村役場船舶課のみとなるため妥当だと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については妥当だと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は、車両航送運賃を適正に支援しているため妥当だと考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については、各停時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名		渡嘉敷村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-② 渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア				
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減			
事業内容	渡嘉敷村営定期船の欠航、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的移動手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
		(a)当初予算額	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	
	(b)予算現額	1,290	2,100	1,300	1,300	3,300		
	(c)増減額(b-a)	▲2,010	▲1,200	▲2,000	▲2,000	0		
	(d)繰越額	0	0	0	0			
	A.計(b+d)	1,290	2,100	1,300	1,300	3,300		
	B.執行済額	960	60	210	120	60		
	うち交付金充当額	768	48	168	96	48		
	次年度繰越額	0	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	74.4%	2.9%	16.2%	9.2%	1.8%		
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症の流行に伴う観光客数の大幅減少により、事業費が60千円となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	年間補助回数	目標	(110回)	(110回)	(110回)	(110回)		
		実績	2回	7回	4回	2回		
			目標	()	()	()		
		実績						
達成状況説明		前年同様にヘリコプターチャーター利用回数が大幅減となり目標を下回る結果となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	渡嘉敷村営定期船の欠航時等に代替手段となるヘリコプターの運賃補助を行うことで、利便性が確保されていると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。		目標	(80%)	(80%)	(80%)	(80%)	(80%)
			実績		100%	100%	100%	
			目標	()	()	()	()	
			実績					
進捗状況説明		利用者は大幅に減少しているが、アンケート調査では利便性を確保出来ているという結果が出た。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 利用者へのアンケート調査の結果、ヘリコプターチャーター料金を半額補助することにより、住民及び観光客の交通手段の利便性の確保ができたが、今年度は台風の数回が少なく、新型コロナの影響により観光客数も減(コロナ前11万人→6万人)となっている為、利用回数が少なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナの影響等で利用者の減少がしばらく続く事が予想されるため、事業費の縮小を検討する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査を継続し、利便性の確保の確認や当該事業のあり方を検証する。また、過去の実績に応じて事業費を算定し直す。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
60	60	48	12	0



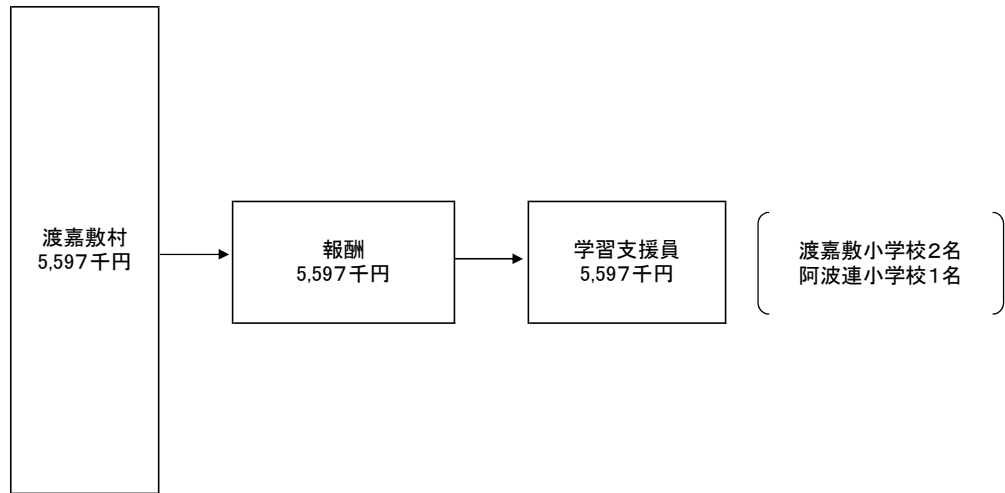
資金の流 用途の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、エクセル航空(株)の1社のみが事業者として参入しているため妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、これまでの補助回数の実績等により算出しているため妥当と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は、運航経費の半額を適正に補助している。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については、事業実績に基づき必要なものに限定されていると考える。

市町村名		渡嘉敷村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 小学校学習支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア		
担当部署名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充		
事業内容	児童の学力に応じた個々の学習指導を行う事で、学力の向上を図るため、村立小学校に学習支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		5,210	6,722	6,415	9,562	10,724
			3,287	4,967	4,888	7,354	9,241
			▲ 1,923	▲ 1,755	▲ 1,527	▲ 2,208	▲ 1,483
			0	0	0	0	0
	B. 執行済額 うち交付金充当額		2,526	4,245	3,793	3,182	5,597
			2,021	3,396	3,034	2,545	4,477
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		76.8%	85.5%	77.6%	43.3%	60.6%
	予算の状況の説明	学習支援員配置については、本事業と沖縄県の複式学級教育改善事業を活用して実施しているが、当初予算算定時においては、複式学級教育改善事業の補助が確定していないため、支出予定額全額を本事業にて計上している。事業決定後、複式学級教育改善事業補助額を減額している。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	渡嘉敷小学校へ支援員を2名派遣 阿波連小学校へ支援員を2名派遣		目標 (4名)	(4名)	(4名)	(4名)	
			実績 3名	4名	2名	3名	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	令和3年度は渡嘉敷小学校 1名、阿波連小学校 1名の配置でスタートし、5月に渡嘉敷小学校へ 1名追加配置となった。全体で3名配置となり、目標の4名配置は達成できなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率+3.1ポイント以上		目標 ()	(9.3)	(9.2)	(3.1)	()
			実績	3.1	7.9	4.7	
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	目標値の沖縄県学力到達度調査における県と村との全体の平均正答率の差+3.1ポイントを上回る+4.7ポイントという結果になった。令和3年度の到達度調査の結果(平均正答率)は、小5国語(村70.6%、県68%)、小5算数(村63.5%、県52.5%)、小6国語(村58%、県61.8%)小6算数(村42.9%、県38.5%)である。令和3年度は、小6国語の調査が追加となった。						

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・年間を通して支援員の募集を行ってきたが、計画人員の確保ができなかったが、これまでの本事業を活用した取組により学力到達度調査では目標値を上回ることができ、児童の学力向上が図られてきている。	・児童の学力向上のため、年間をととして支援員の確保ができるよう、継続して募集を行っていく。
	今後の取り組み方針	
・児童の学力向上を図るため、支援員の配置、人員確保のための募集を継続して行っていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
5,597	5,597	4,477	1,120	0

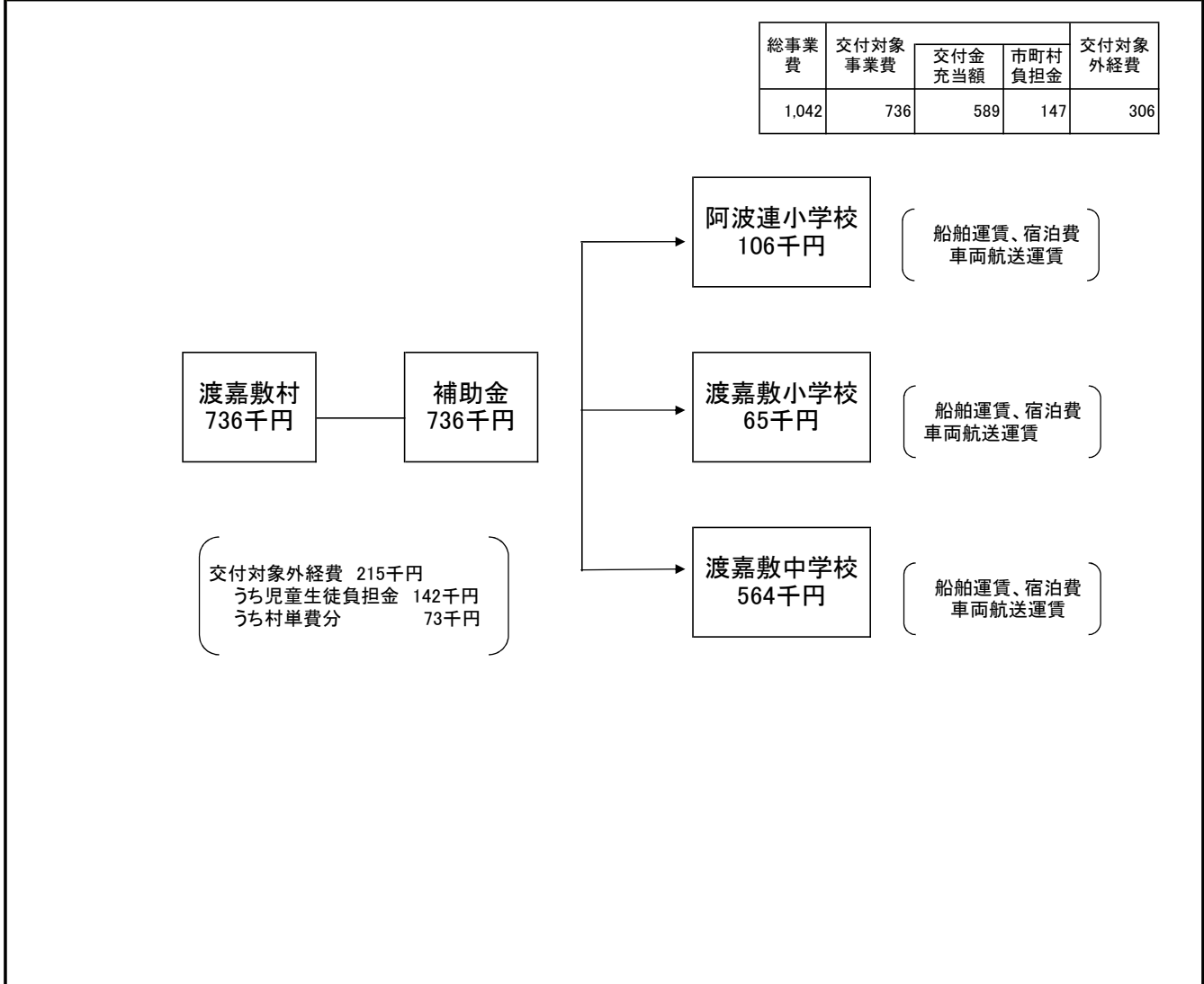


資金の流 点検 費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・選定は有資格者、経験者を採用しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・有資格者の支援員の時給については、県の時給との均衡を考慮して設定しているため、予算規模は適正であると考え。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・用途については、実績に基づいており適性であったと考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-② 児童・生徒派遣支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア		
	担当部署名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充	
事業内容	島外の人との競争や交流の機会を増やす事で、児童生徒に広い視野を持たせるため、村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会(県大会や全国大会等)に参加する児童生徒に対し、航空運賃等の補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	2,565	3,460	2,288	2,715	3,306
	(b) 予算現額	2,861	1,397	2,110	517	1,884	
	(c) 増減額(b-a)	296	▲ 2,063	▲ 178	▲ 2,198	▲ 1,422	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	2,861	1,397	2,110	517	1,884	
	B. 執行済額	1,221	1,555	1,714	420	736	
	うち交付金充当額	977	1,243	1,370	336	589	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	42.7%	111.3%	81.2%	81.2%	39.1%	
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症拡大の影響による大会の中止等があったことから、不用額が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	阿波連小学校児童派遣 5件	目標	(4件)	(4件)	(4件)	(5件)	
		実績	3件	3件	1件	2件	
	渡嘉敷小学校児童派遣 4件	目標	(3件)	(3件)	(3件)	(4件)	
		実績	3件	3件	1件	1件	
	渡嘉敷中学校生徒派遣 11件	目標	(10件)	(13件)	(10件)	(11件)	
		実績	7件	7件	3件	6件	
【参考指標】 派遣児童生徒(累計)	目標	()	()	()	()		
	実績	238名	192名	71名	131名		
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、大会が中止となり、例年と比べ派遣数が減少したが、一部大会が開催された事から派遣事業を実施できたことで、離島小規模校では体験できない帰庁な経験を積む事ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	児童生徒の視野が広がったかどうか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業の在り方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		94%	82%	78%	
進捗状況説明	保護者へのアンケート調査において、3校の児童・生徒が、村外で実施されたスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験できない貴重な経験を積む事ができたと回答した割合は78%(29人/37人)であった。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、大会中止等があった。</p>	<p>・大会が中止となった場合でも、児童・生徒が島内では出来ない経験を積めるよう、島外の学校との練習試合など、派遣内容の検討が必要である。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・大会自体が中止となってしまった場合、離島校では練習の成果を発揮する場がなくなってしまう。大会が中止となっても、練習試合等への派遣を検討し、島内では出来ない経験や競争、交流機会の確保を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 途の点 検・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・各学校による補助申請に対し補助を行っているため妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模は適正な規模で確保されており、感染症の影響もあったものの妥当であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・渡嘉敷村立学校校外派遣事業交付規程により負担しており、妥当であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については、真に必要なものか等について、額の確定時に支出等に関する書類により確認している為、適正であったと考える。

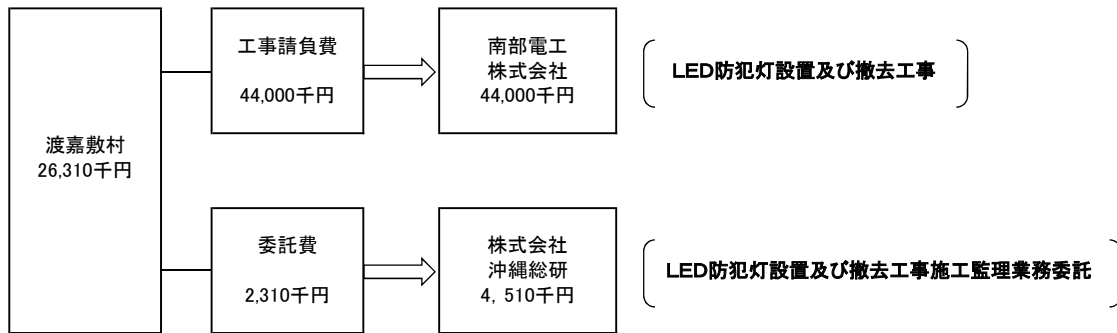
市町村名		渡嘉敷村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③ 家庭教育支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-(イ)		
担当部署名	渡嘉敷村教育委員会 教育課		事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	
生活環境基盤の基準及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-3-(1)							
事業内容	小学校5年生～中学3年生を対象にWebシステムを用いた授業による学習塾を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	14,638	14,635	13,402	12,727	15,603
		(b)予算現額	7,976	8,243	9,000	7,674	12,583
		(c)増減額(b-a)	▲6,662	▲6,392	▲4,402	▲5,053	▲3,020
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)		7,976	8,243	9,000	7,674	12,583
	B. 執行済額		6,976	8,160	8,999	7,674	6,561
	うち交付金充当額		5,580	6,528	7,199	6,139	5,249
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		87.5%	99.0%	100.0%	100.0%	52.1%
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染拡大の影響による休校期間の発生や、対象児童生徒に対して参加申込が、約半数となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	小学校5年(国語・算数)76授業 小学校6年(国語・算数)76授業 中学校1年(英語・数学)76授業 中学校2年(英語・数学)76授業 中学校3年(英語・数学・国語)148授業		目標 (302授業)	(220授業)	(420授業)	(452授業)	
			実績 296授業	240授業	382授業	384授業	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		対象人数54名に対し28名と役半分程度の参加になった。だが、毎回の参加率は良い。島内で新型コロナウイルスの感染拡大があり、現地支援員が来島出来ず事業実施出来ない日も発生した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	学習塾で実施するテスト(全国規模)において、全国と本村の平均点の差を-14.1点以内とする。		目標 ()	(-11.7点以内)	(-14.1点以内)	(-14.1点以内)	(-24.1点以内)
			実績	-14.1点	-24.1点	-41点	
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明		全国平均点を目標に取り組んでいたが、昨年度よりも差がひらく結果となってしまった。児童生徒の点数差が大きく平均点を伸ばすことが出来ていない。					

市町村名		渡嘉敷村				
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	4-① 渡嘉敷村低炭素な村づくり推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章-1-(3)-ウ	
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	令和2～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	低炭素都市づくり推進	
事業内容	低炭素社会への転換を推進し、地球温暖化対策へ寄与するとともに、防犯灯における二酸化炭素排出量を削減するため、村内既存の防犯灯(水銀灯・蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明等への切替を実施する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度			
	予算の状況	(a) 当初予算額	4396	39,475		
		(b) 予算現額	4510	46,775		
		(c) 増減額(b-a)	114	7,300		
		(d) 繰越額	0	0		
		A. 計(b+d)	4,510	46,775		
		B. 執行済額	4510	46310		
		うち交付金充当額	3608	37048		
		次年度繰越額	0	0		
		執行率(%) (B/A)	100.0%	99.0%		
予算の状況の説明	入札による執行残が発生し、465千円減額となった					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況			
			R2年度	R3年度		
	村内にある既存の防犯灯(水銀灯、蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明への切替を実施する。	目標	(調査設計)	()	()	
		実績	調査設計実施			
	村内の防犯灯、街灯(水銀灯、蛍光灯)のLED化。新たな箇所への景観に配慮したLEDの設置や撤去等の工事を行う。	目標	()	(設置・撤去工事)	()	
	実績		設置・撤去工事実施			
達成状況説明	村内にある既存の防犯灯をLED照明への切替を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	設計業務の完了	目標	()	(完了)	()	()
		実績		完了		
	村内防犯灯、街灯のLED化工事	目標	()	()	(完了)	()
		実績			完了	
	撤去する防犯灯の決定	目標	()	()	(完了)	()
		実績			完了	
	地球温暖化防止対策の寄与の観点からCO2排出削減に繋げていく。省電力量「7.9%」比較年間CO2排出量「4.3%」比較	目標	()	()	(完了)	()
		実績			完了	
	進捗状況説明	工期内にLED防犯灯設置及び撤去工事を完了した。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・工事を実施していく中で、既存の防犯灯(水銀灯)の撤去を実施したが、基礎の撤去が含まれておらず、住民から基礎の撤去も行ってほしいとの声があった。</p>	<p>・工事完了したが、光量の不足により暗い箇所がいくつかあるので、今後新設を計画する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・今後、住民から声のあった基礎の撤去と暗い箇所へのLED防犯灯の設置を計画・実施する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
46,310	46,310	37,048	9,262	0



資金の流 点検 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算の規模については妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、目的に即し必要なものであったと考える。
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		